

「平成20年中の交通事故死者数について」

～ 54年振りに5千人台となった前年を更に下回る ～

○ 平成20年中の交通事故死者数（24時間以内）

5,155人（前年比-589人、-10.3%）

○ 死者の最多・最少日

- ・ 最多日：10月24日（金）及び12月15日（月） 28人
- ・ 最少日：1月1日（火） 4人

○ 一日平均死者数

14.08人（平成19年中：15.74人）

<1時間42分に1人>（平成19年中：1時間32分に1人）

【添付資料】

1	交通事故発生状況の推移	1
2	月別交通事故死者数の推移	2
3	都道府県別交通事故死者数	3
4	死者3人以上の交通事故の発生状況	4
5	内閣総理大臣の談話	5
6	国家公安委員会委員長・警察庁長官のコメント	6

1 交通事故発生状況の推移

○ 交通事故発生状況の推移（昭和23年～平成20年）

年	発生件数		負傷者数		死者数	
	(件)	指数	(人)	指数	(人)	指数
昭和 23 年	21,341	...	17,609	...	3,848	23
24	25,113	...	20,242	...	3,790	23
25	33,212	...	25,450	...	4,202	25
26	41,423	...	31,274	...	4,429	26
27	58,487	...	43,321	...	4,696	28
28	80,019	...	59,280	...	5,544	33
29	93,869	...	72,390	...	6,374	38
30	93,981	...	76,501	...	6,379	38
31	122,691	...	102,072	...	6,751	40
32	146,833	...	124,530	...	7,575	45
33	168,799	...	145,432	...	8,248	49
34	201,292	...	175,951	...	10,079	60
35	449,917	...	289,156	29	12,055	72
36	493,693	...	308,697	31	12,865	77
37	479,825	...	313,813	32	11,445	68
38	531,966	...	359,089	37	12,301	73
39	557,183	...	401,117	41	13,318	79
40	567,286	...	425,666	43	12,484	74
41	425,944	59	517,775	53	13,904	83
42	521,481	73	655,377	67	13,618	81
43	635,056	88	828,071	84	14,256	85
44	720,880	100	967,000	99	16,257	97
45	718,080	100	981,096	100	16,765	100
46	700,290	98	949,689	97	16,278	97
47	659,283	92	889,198	91	15,918	95
48	586,713	82	789,948	81	14,574	87
49	490,452	68	651,420	66	11,432	68
50	472,938	66	622,467	63	10,792	64
51	471,041	66	613,957	63	9,734	58
52	460,649	64	593,211	60	8,945	53
53	464,037	65	594,116	61	8,783	52
54	471,573	66	596,282	61	8,466	50
55	476,677	66	598,719	61	8,760	52
56	485,578	68	607,346	62	8,719	52
57	502,261	70	626,192	64	9,073	54
58	526,362	73	654,822	67	9,520	57
59	518,642	72	644,321	66	9,262	55
60	552,788	77	681,346	69	9,261	55
61	579,190	81	712,330	73	9,317	56
62	590,723	82	722,179	74	9,347	56
63	614,481	86	752,845	77	10,344	62
平成 元年	661,363	92	814,832	83	11,086	66
2	643,097	90	790,295	81	11,227	67
3	662,388	92	810,245	83	11,105	66
4	695,345	97	844,003	86	11,451	68
5	724,675	101	878,633	90	10,942	65
6	729,457	102	881,723	90	10,649	64
7	761,789	106	922,677	94	10,679	64
8	771,084	107	942,203	96	9,942	59
9	780,399	109	958,925	98	9,640	58
10	803,878	112	990,675	101	9,211	55
11	850,363	118	1,050,397	107	9,006	54
12	931,934	130	1,155,697	118	9,066	54
13	947,169	132	1,180,955	120	8,747	52
14	936,721	130	1,167,855	119	8,326	50
15	947,993	132	1,181,431	120	7,702	46
16	952,191	133	1,183,120	121	7,358	44
17	933,828	130	1,156,633	118	6,871	41
18	886,864	124	1,098,199	112	6,352	38
19	832,454	116	1,034,445	105	5,744	34
20	765,510	107	944,071	96	5,155	31

注1 昭和34年までは、軽微な被害事故（8日未満の負傷、2万円以下の物的損害）は含まない。

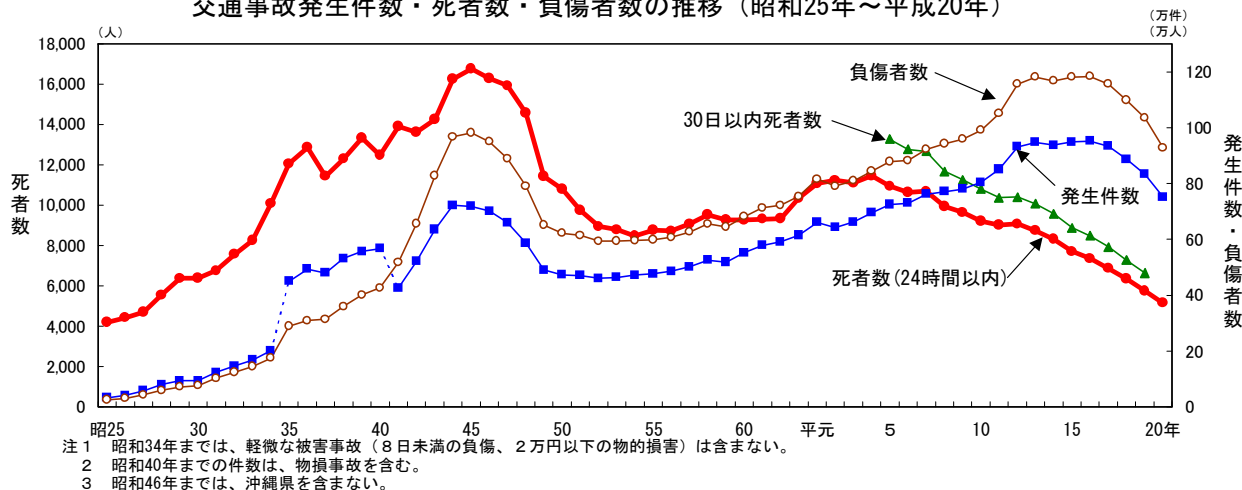
2 昭和40年までの件数は、物損事故を含む。

3 昭和46年までは、沖縄県を含まない。

4 指数は、昭和45年を100とした値である。

5 平成20年の発生件数及び負傷者数は概数である。

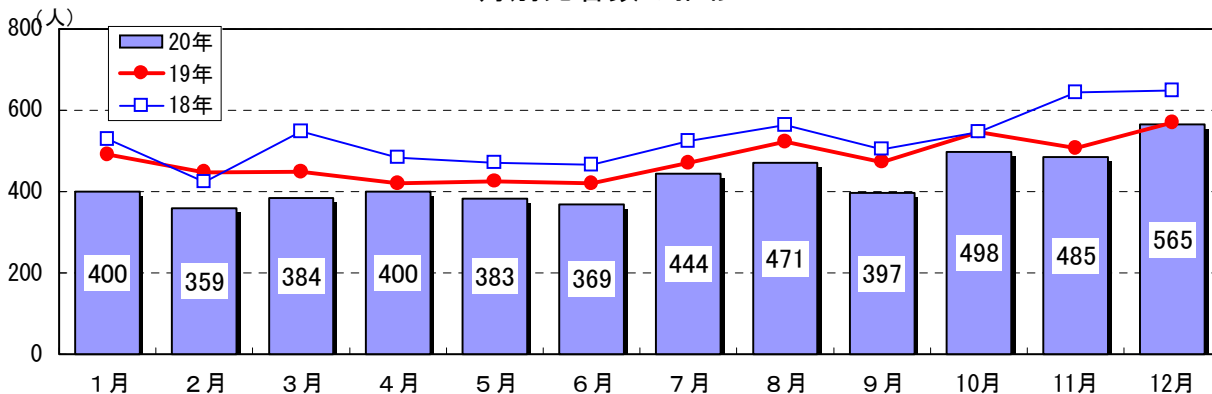
交通事故発生件数・死者数・負傷者数の推移（昭和25年～平成20年）



2 月別交通事故死者数の推移

死者数を月別に前年と比較すると、全ての月で減少している。

月別死者数の推移



○ 月別死者数の推移

年	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下半期計	年間合計
昭和	27年	302	300	371	403	396	373	2,145	347	434	396	490	430	454	2,551	4,696
	45	1,237	1,140	1,379	1,271	1,419	1,289	7,735	1,480	1,545	1,467	1,476	1,515	1,547	9,030	16,765
平成	5年	837	796	876	840	860	902	5,111	932	924	836	1,070	978	1,091	5,831	10,942
	6	853	722	859	858	814	831	4,937	926	937	873	952	979	1,045	5,712	10,649
	7	750	766	842	874	869	819	4,920	852	912	917	1,000	1,004	1,074	5,759	10,679
	8	792	688	785	787	787	760	4,599	829	859	814	942	900	999	5,343	9,942
	9	813	722	801	740	796	743	4,615	786	804	760	845	851	979	5,025	9,640
	10	704	621	783	679	764	676	4,227	734	772	749	838	931	960	4,984	9,211
	11	715	639	699	679	742	717	4,191	758	770	695	805	853	934	4,815	9,006
	12	728	666	780	694	695	697	4,260	747	806	685	835	866	867	4,806	9,066
	13	619	637	763	665	662	659	4,005	743	745	726	823	833	872	4,742	8,747
	14	643	626	729	684	638	617	3,937	650	692	667	759	793	828	4,389	8,326
	15	591	553	615	571	603	565	3,498	579	707	643	733	743	799	4,204	7,702
	16	556	509	617	604	582	559	3,427	631	622	580	645	689	764	3,931	7,358
	17	558	469	572	524	495	506	3,124	581	610	629	605	651	671	3,747	6,871
	18	529	424	548	484	471	466	2,922	524	563	504	547	644	648	3,430	6,352
	19	491	448	449	420	426	420	2,654	470	523	473	547	507	570	3,090	5,744
	20	400	359	384	400	383	369	2,295	444	471	397	498	485	565	2,860	5,155
	増減数	-91	-89	-65	-20	-43	-51	-359	-26	-52	-76	-49	-22	-5	-230	-589
	増減率	-18.5	-19.9	-14.5	-4.8	-10.1	-12.1	-13.5	-5.5	-9.9	-16.1	-9.0	-4.3	-0.9	-7.4	-10.3
	1日当たり死者数	12.9	12.4	12.4	13.3	12.4	12.3	12.6	14.3	15.2	13.2	16.1	16.2	18.2	15.5	14.1

注1 増減数(率)は、前年と比較した値である。

注2 昭和27年は平成20年よりも死者数が少ない直近の年、45年は死者数が最も多い年である。

3 都道府県別交通事故死者数

(1) 多い都道府県

順位	都道府県	死者数
1	愛知	276人
2	埼玉	232人
3	北海道	228人
4	東京	218人
5	千葉	213人

(2) 少ない都道府県

順位	都道府県	死者数
1	鳥取	30人
2	長崎	40人
3	島根	42人
3	徳島	42人
5	沖縄	43人

(3) 増加した都道府県

順位	都道府県	死者数
1	茨城	+32人
2	静岡	+22人
3	大分	+18人
3	佐賀	+18人
5	京都	+11人

全7府県

(4) 減少した都道府県

順位	都道府県	死者数
1	北海道	-58人
2	東京	-51人
3	大阪	-50人
4	神奈川	-48人
5	千葉	-41人

全38都道府県

都道府県名	1月1日～12月31日							
	平20年		平19年		増減率		順位	
	順位	増減数	順位	増減率				
北海道	札幌	117	...	142	-25	...	-17.6%	...
	函館	18	...	29	-11	...	-37.9%	...
	旭川	38	...	42	-4	...	-9.5%	...
	釧路	42	...	56	-14	...	-25.0%	...
	北見	13	...	17	-4	...	-23.5%	...
計	228	3	286	-58	47	-20.3%	38	
東	青森	62	32	92	-30	39	-32.6%	45
	岩手	69	29	98	-29	38	-29.6%	43
	宮城	95	22	108	-13	28	-12.0%	25
	秋田	61	33	71	-10	25	-14.1%	30
	山形	48	40	76	-28	37	-36.8%	46
北	福島	113	18	121	-8	21	-6.6%	19
計	448	...	566	-118	...	-20.8%	...	
東	東京	218	4	269	-51	46	-19.0%	34
関	茨城	210	6	178	32	1	18.0%	3
	栃木	129	13	149	-20	34	-13.4%	26
	群馬	95	22	100	-5	17	-5.0%	17
	埼玉	232	2	228	4	7	1.8%	7
	千葉	213	5	254	-41	43	-16.1%	32
	神奈川	189	11	237	-48	44	-20.3%	37
	新潟	124	15	158	-34	42	-21.5%	40
東	山梨	50	39	52	-2	11	-3.8%	14
長野	118	16	121	-3	13	-2.5%	12	
静岡	210	6	188	22	2	11.7%	6	
計	1,570	...	1,665	-95	...	-5.7%	...	
中	富山	58	35	63	-5	17	-7.9%	21
	石川	56	37	59	-3	13	-5.1%	18
	福井	55	38	60	-5	17	-8.3%	22
	岐阜	141	12	164	-23	35	-14.0%	29
	愛知	276	1	288	-12	26	-4.2%	15
	三重	110	19	118	-8	21	-6.8%	20
	計	696	...	752	-56	...	-7.4%	...
近	滋賀	79	27	93	-14	29	-15.1%	31
	京都	102	20	91	11	5	12.1%	5
	大阪	198	9	248	-50	45	-20.2%	36
	兵庫	199	8	231	-32	40	-13.9%	28
	奈良	48	40	60	-12	26	-20.0%	35
畿	和歌山	63	31	56	7	6	12.5%	4
計	689	...	779	-90	...	-11.6%	...	
中	鳥取	30	47	34	-4	15	-11.8%	24
	島根	42	44	42	0	8	0.0%	8
	岡山	114	17	115	-1	10	-0.9%	10
	広島	128	14	132	-4	15	-3.0%	13
	山口	91	24	115	-24	36	-20.9%	39
計	405	...	438	-33	...	-7.5%	...	
四	徳島	42	44	58	-16	30	-27.6%	42
	香川	61	33	78	-17	31	-21.8%	41
	愛媛	82	26	100	-18	33	-18.0%	33
	高知	57	36	66	-9	24	-13.6%	27
計	242	...	302	-60	...	-19.9%	...	
九	福岡	197	10	199	-2	11	-1.0%	11
	佐賀	68	30	50	18	3	36.0%	1
	長崎	40	46	57	-17	31	-29.8%	44
	熊本	98	21	103	-5	17	-4.9%	16
	大分	77	28	59	18	3	30.5%	2
	宮崎	48	40	80	-32	40	-40.0%	47
	鹿児島	88	25	96	-8	21	-8.3%	22
州	沖縄	43	43	43	0	8	0.0%	8
計	659	...	687	-28	...	-4.1%	...	
合計	5,155	...	5,744	-589	...	-10.3%	...	

4 死者3人以上の交通事故の発生状況

NO	発生日時	発生場所	死傷者	関係車両等	交通事故の概要
1	1月3日 17時20分ころ	国道 (北海道)	死亡3 重傷1	普通乗用1	山越郡内の国道において、普通乗用車が、対向車線に進出して右側路外に逸脱し、道路案内標識柱に衝突したもので、運転手を含む3人が死亡、1人が重傷を負ったもの。
2	1月23日 0時55分ころ	区道 (警視庁)	死亡3 重傷2 軽傷2	普通乗用1	江戸川区内の区道において、普通乗用車が、カーブを曲がりきれず、街路樹に衝突し、運転手を含む3人が死亡、4人が重軽傷を負ったもの。
3	3月7日 2時50分ころ	国道 (滋賀)	死亡3	普通乗用1 大型貨物1 中型貨物1	大津市内の国道において、普通乗用車が対向車線に進出し、対向してきた大型貨物に衝突、大型貨物の後続の中型貨物が大型貨物に追突したもので、普通乗用車乗車の3人が死亡したもの。
4	3月14日 23時35分ころ	主地道 (広島)	死亡3 軽傷1	普通乗用1	三次市内の主要地方道において、普通乗用車がカーブを曲がりきれず、左側路外に逸脱し、鉄製フェンスに衝突したもので、運転手を含む3人が死亡、1人が軽傷を負ったもの。
5	4月21日 5時47分ころ	自専道 (和歌山)	死亡3 重傷3	普通乗用1 中型貨物1	有田郡内の湯浅御坊道路下り線において、ポストコーンの間から普通乗用車が反対車線に進出し、中型貨物車と正面衝突、普通乗用車乗車の3人が死亡、2人が重傷を負い、中型貨物車運転手が重傷を負ったもの。
6	5月3日 23時20分ころ	国道 (北海道)	死亡3 軽傷1	普通乗用1 軽四乗用1	紋別郡内の国道において、路上に牛がいたため停止中の軽四乗用車に普通乗用車が追突、軽四乗用車が炎上し、同車の運転手が軽傷を負い、同乗していた3人が死亡したもの。
7	6月22日 22時12分ころ	市道 (福井)	死亡3 軽傷2	普通乗用1	坂井市内の市道において、ハンドルを急転把し自車を左斜め方向へ滑走させ、道路左側に設置の電柱に衝突したもので、同乗者3人が死亡、運転手を含む2人が軽傷を負ったもの。
8	7月21日 3時55分ころ	高速道 (新潟)	死亡3 軽傷1	軽四乗用1 普通乗用1	阿賀野市内の磐越自動車道で、軽四乗用車が対向車線にはみ出し対向車と衝突、軽四乗用車同乗者3人が死亡、軽四乗用車運転手が軽傷を負ったもの。
9	8月4日 17時55分ころ	国道 (宮城)	死亡3 重傷1 軽傷1	普通乗用2 大型貨物1	本吉郡内の国道において、普通乗用車がカーブを曲がりきれず、対向車線にはみ出し、対向の大型貨物車と衝突、その後大型貨物車が普通乗用車の後続車と接触したもので、対向車線にはみ出した普通乗用車乗車の4人中、運転手を含む3人が死亡、1人が重傷、大型貨物車運転手が軽傷を負ったもの。
10	8月5日 15時09分ころ	自専道 (茨城)	死亡4 重傷2	普通乗用1 中型貨物1	つくば市内の首都圏中央連絡自動車道(圏央道)において、普通乗用車が対向車線にはみ出し、対向の中型貨物と正面衝突したもので、普通乗用車乗車の4人全員が死亡、中型貨物車乗車の2人が軽傷を負ったもの。
11	8月11日 3時45分ころ	国道 (島根)	死亡3 軽傷2	普通乗用1	松江市内の国道において、普通乗用車が中央分離帯に設置された街路灯に衝突、後部座席乗車の3人が死亡、運転手、助手席同乗者が軽傷を負ったもの。
12	8月18日 14時30分ころ	国道 (長野)	死亡3	普通乗用1 大型貨物1	大町市内の国道において、普通乗用車が対向車線にはみ出し、対向の大型貨物車と正面衝突したもので、普通乗用車乗車の3人が死亡したもの。
13	11月3日 16時10分ころ	市道 (埼玉)	死亡3 軽傷1	普通乗用2	川口市内の市道において、普通乗用車同士が信号機のない交差点で出会い頭に衝突、3人が死亡、1人が軽傷を負ったもの。
14	12月4日 16時07分ころ	市道 (茨城)	死亡3 重傷1 軽傷4	普通乗用2	稲敷市内の市道において、普通乗用車同士が信号機のない交差点で出会い頭に衝突、1台が用水路に転落し同車に乗車していた3人が死亡、運転手が重傷、その他4人が軽傷を負ったもの。
15	12月29日 8時25分ころ	国道 (広島)	死亡3	普通乗用1	三原市内の国道において、普通乗用車が進路左側の民家敷地内に突っ込み、同敷地内で園芸作業をしていた家人3人に衝突、同3人が死亡したもの。

5 内閣総理大臣の談話

交通事故死者数が第8次交通安全基本計画の目標を下回ったことに関する内閣総理大臣（中央交通安全対策会議会長）の談話

平成21年1月2日

昨年1年間の交通事故死者数は、5,155人でした。平成22年までに交通事故死者数を5,500人以下とする「第8次交通安全基本計画」の目標を、2年前倒しで達成しました。

近年の交通事故死者数の減少は、シートベルトの着用者率の向上や、飲酒運転の根絶等に向けた取組を始めとする政府、地方自治体、関係民間団体、地域の方々の努力の成果であります。この間、交通事故防止に御尽力いただいた方々に感謝いたします。

また、平成15年からの10年間で、交通事故死者数を半減し、5,000人以下にするという政府目標を掲げております。その実現も、間近となりました。

しかしながら、いまだに多くの方が、交通事故で亡くなっていることは、憂慮すべきことです。

新たな年を迎え、私は、今後10年間を目途に、更に交通事故死者数を、半減させる決意をいたしました。

この目標の実現は容易ではありませんが、政府、関係団体、国民を挙げて力を結集し、世界一安全な道路交通の実現を目指してまいります。

そのためには、高齢化が更に進むことを考えると、高齢者に対する対策に重点的に取り組まなければなりません。また、飲酒運転の根絶、交通安全教育の推進、安全かつ円滑な道路交通環境の整備に力をいれます。

国民の皆様の、御理解と御支援を、お願いいたします。

中央交通安全対策会議会長
内閣総理大臣 麻生 太郎

6 国家公安委員会委員長、警察庁長官のコメント

(1) 国家公安委員会委員長のコメント

これまで、国民の皆様や関係方面の皆様とともに、交通安全の確保に取り組んできたところであり、その結果、昨年交通事故による死者数は、5,155人で、54年振りに5千人台となった前年を更に下回り、負傷者数も10年振りに100万人を下回るなど、第8次交通安全基本計画の目標を2年前倒して達成するに至りました。

しかしながら、飲酒運転による悲惨な事故が後を絶たず、また、多くの尊い命が交通事故の犠牲となっているなど、交通事故情勢は依然として厳しいものがあります。

交通事故のない安全で快適な交通社会を実現することは、国民すべての願いであり、政府の重要な課題であります。

国家公安委員会としても、引き続き、「交通事故死者数を5千人以下とする」との政府目標を早期に達成するとともに、それにとどまらず、強い決意をもって交通事故死者の更なる減少に向けて取り組んでまいりたいと考えておりますので、国民の皆様方には、なお一層の交通安全の取組みや安全行動の実践をお願いいたします。

(2) 警察庁長官のコメント

昨年は、交通事故による死者数が、8年連続して減少し、54年振りに5千人台となった前年を更に下回り5,155人となったほか、交通事故の発生件数も4年連続して減少し、負傷者数も10年振りに100万人を下回りました。

これは、全国警察が関係機関・団体等と協力し、あるいは連携しながら、悲惨な交通事故を1件でも多く減少させたいという熱意をもって各種の対策に取り組んできた結果であると認識しております。

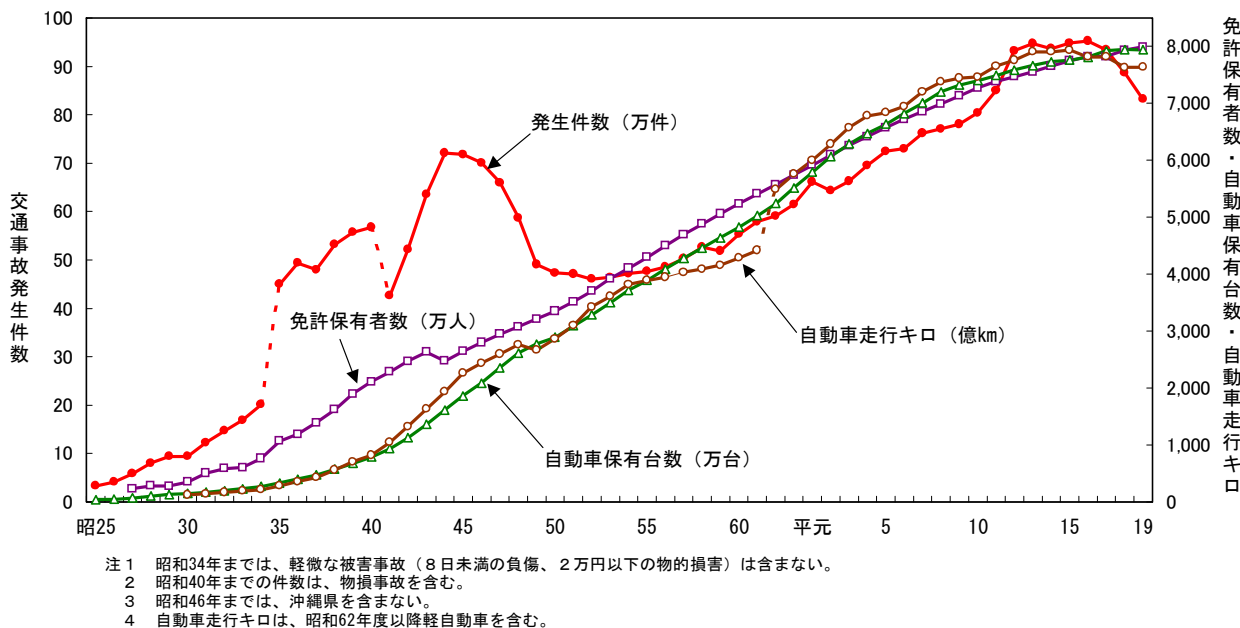
しかしながら、交通事故の発生件数は70万件を、また負傷者数は90万人を超えるなど、交通事故情勢は依然として厳しいものがあります。

また、本年6月までに、75歳以上の高齢運転者の免許証更新時に認知機能検査が導入されるほか、飲酒運転やひき逃げ等悪質・危険な運転者の運転免許の欠格期間の延長に係る改正道路交通法の規定が施行される所であり、その円滑な施行に万全を期す必要があります。

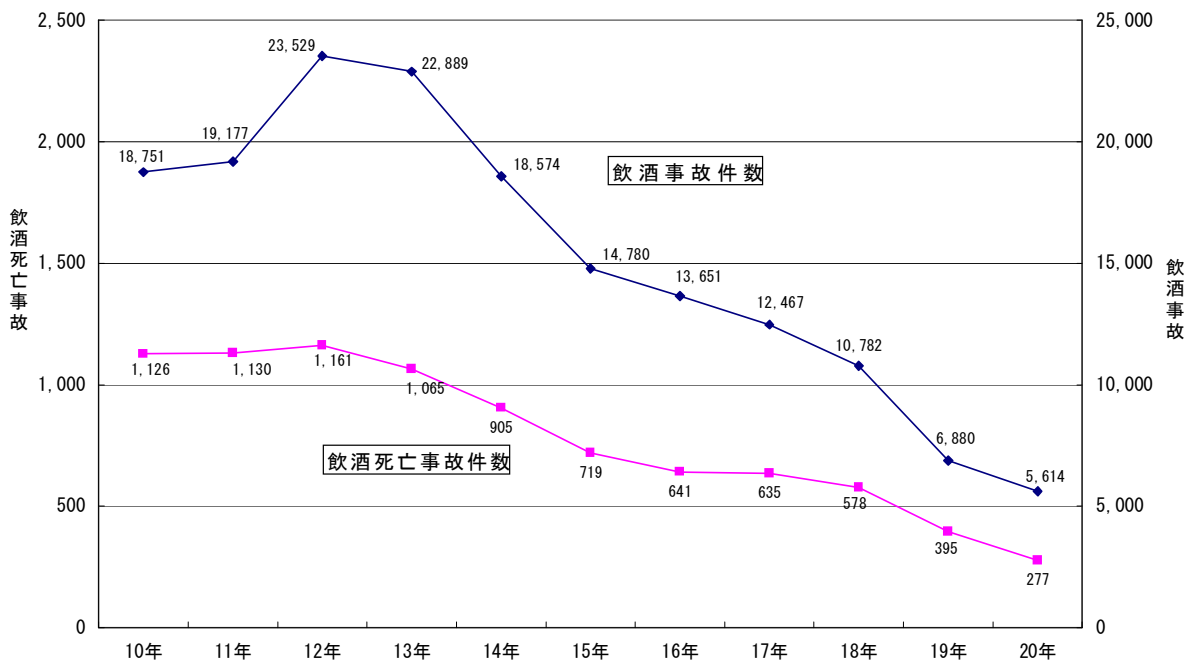
交通事故による死者数は減少しましたが、いまだに年間5千人以上の方々が交通事故により亡くなっているという現状を重く受け止め、こうした犠牲者を一人でも減らすため、引き続き、各界各層と連携を図りながら、総合的な交通事故防止対策をなお一層進めてまいりたいと考えています。

交通関係指標

交通関係指標の推移（昭和25年～平成19年）



飲酒事故発生件数の推移（各年11月末）



交通安全基本計画の推移

	計画期間	目 標	結 果
第一次	昭和46年度 ～50年度	<昭和50年の目標> 昭和50年における歩行中の交通事故死者数（予測値）の半減 8,000人 → 4,000人以下	昭和45年の歩行中の交通事故死者数 5,939人 昭和50年の歩行中の交通事故死者数 3,732人
第二次	昭和51年度 ～55年度	<昭和55年の目標> 過去最高時（昭和45年）の交通事故死者数の半減 16,765人 → 8,382人以下	昭和55年の交通事故死者数 8,760人
第三次	昭和56年度 ～60年度	<昭和60年の目標> 交通事故死者数 8,000人以下	昭和60年の交通事故死者数 9,261人
第四次	昭和61年度 ～平成2年度	<平成2年の目標> 交通事故死者数 8,000人以下	平成2年の交通事故死者数 11,227人
第五次	平成3年度 ～7年度	<平成7年の目標> 平成7年における交通事故死者数（予測値）の減少 13,500人程度 → 10,000人以下	平成7年の交通事故死者数 10,679人
第六次	平成8年度 ～12年度	<平成9年の目標> 交通事故死者数 10,000人以下 <平成12年の目標> 交通事故死者数 9,000人以下	平成9年の交通事故死者数 9,640人 平成12年の交通事故死者数 9,066人
第七次	平成13年度 ～17年度	<平成17年の目標> 交通安全対策基本法施行以降、最低時（昭和54年）の交通事故死者数8,466人以下	平成17年の交通事故死者数 6,871人
第八次	平成18年度 ～22年度	<平成22年の目標> 世界一安全な道路交通の実現を目指し、 交通事故死者数 5,500人以下 死傷者数 100万人以下	